

社会の進化とともに

創業以来、三菱重工グループはお客さま、パートナー、その他関係する皆さまや社会とともに歩み、時代に先駆けた新しい「ものづくり」に挑戦することで、世界の人々の暮らしを支えるさまざまな製品やサービスを提供し続け、社会の発展に貢献してきました。「ものづくり」を通じて培った豊富な実績とノウハウ、人材を駆使して、今後も経済発展と環境負荷軽減の両立などの課題に取り組み、世界の人々や地球にとってより良い未来となるよう挑戦し続けます。

1880's

日本の近代化とともに歩む

日本の近代化の歩みとともに、造船事業を核に、自動車や航空機、タービン、内燃機関などのさまざまな機械分野に進出し、事業の多角化を進めました。



長崎造船所最初の鉄製汽船「夕顔丸」

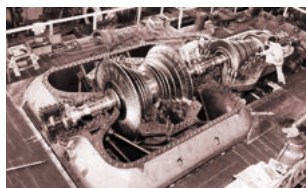


世界一周親善飛行に成功した「ニッポン」

1950's

戦後復興と高度経済成長を支える

終戦後、船舶事業を柱としながら、自動車部門の分離・独立を進める一方で、急増する電力需要や旺盛な民間設備投資に対応し、高度経済成長を支えました。



三菱ウエスティングハウス型タービン



MU-2A型小型多用途機第1号機

1970's

技術立国の一翼を担う

深刻な造船不況に対応し、発電設備や航空機等の成長分野に注力するなど、船舶主導型経営からの転換を図るとともに、海外に活路を求めて事業のグローバル化を積極的に推進しました。
また、宇宙開発への取り組みに代表される高度な技術力を磨きました。



製鉄所向け
圧延プラント



N-1ロケット初号機



ドーバー海峡トンネルTS工区貫通式

ものづくりをベースに、
社会的価値の変化や技術革新を取り入れ
事業領域を拡大

2000's

持続可能な社会に向けて貢献

経済発展に伴うエネルギー需要拡大への対応と環境負荷軽減の両立が課題となる中、再生可能エネルギーを活用した洋上風車、クリーンガスパワー、CO₂回収プラント、排煙脱硫装置など、さまざまな製品やソリューションを提供し、持続可能な社会に向けて貢献しています。



洋上風車



CO₂回収プラント

社会的価値の変化に対応

脱炭素化



水素燃焼ガスタービン



CCS/CCUS
(CO₂回収・有効活用)

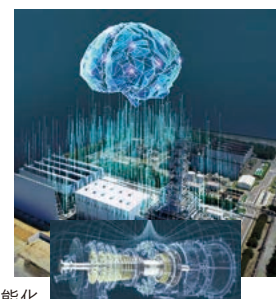
▶ 詳細はP30「特集：脱炭素化の加速により気候変動問題の解決に貢献」をご覧ください。

機械システムの進化に対応

電化・知能化



エアタクシー



プラントの知能化

▶ 詳細はP50「技術基盤の強化」をご覧ください。

社会の進化とともに

三菱重工業グループは社業を通じて社会課題を解決していきます

— MHI FUTURE STREAM —

三菱重工業グループは130年以上にわたり、社是「社業を通じて社会の進歩に貢献する」という精神に則り、社会の発展に貢献してきました。

近年、SDGs※に代表されるように社会課題が複雑化するとともに人々の価値観が多様化しています。

当社グループは、これからも事業を通じて、経済発展と環境負荷軽減の両立という課題解決に貢献する製品・ソリューションを世界に提供し続けていきます。

経済発展と環境負荷軽減の両立という課題解決に貢献

三菱重工業グループは、温室効果ガス排出削減をはじめ、事業活動のすべてのプロセスにおいて環境負荷低減に努めるとともに、より環境に優しい製品・ソリューションの提供を通じて社会の課題解決の具体的な対策づくりを進めています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- 洋上風車
- 地熱発電プラント
- ガスタービン
- 加圧水型原子力発電プラント
- CO₂回収プラント、排ガス再循環式焼結設備
- 高効率ガス発電システム
- 歯車研削盤
- 電気式3輪カウンタースタビライズ式フォークリフト
- ターボ冷凍機
- ターボチャージャ
- ロケット打上げ輸送サービス

現在

近未来

※ SDGs (Sustainable Development Goals) : 2030年までに達成すべき17の「持続可能な開発目標」。
2015年9月の国連総会で採択された。



地球上のすべての人々が
安心して暮らせる社会

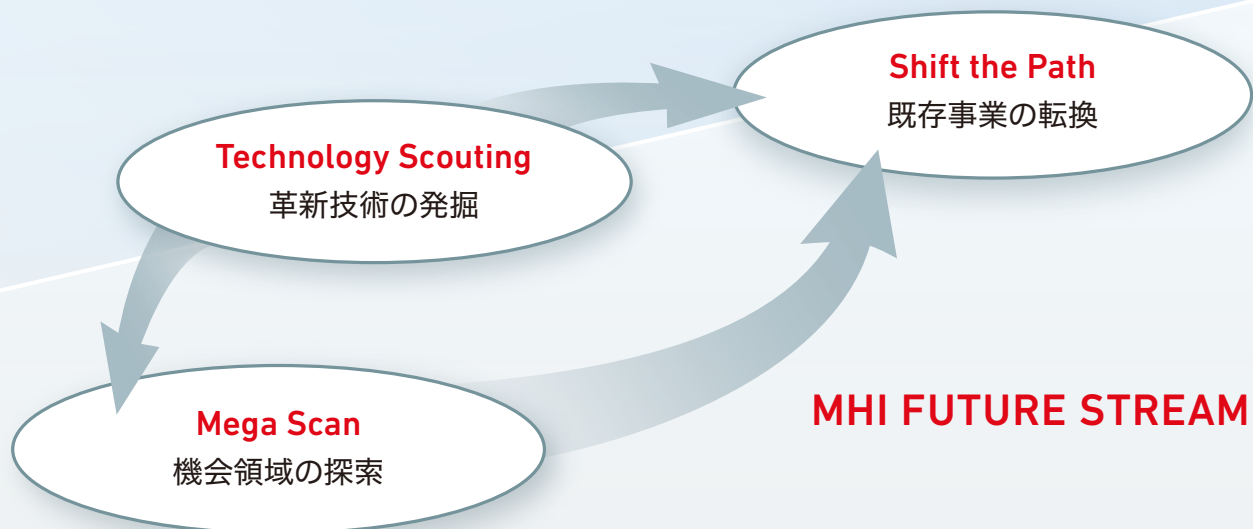
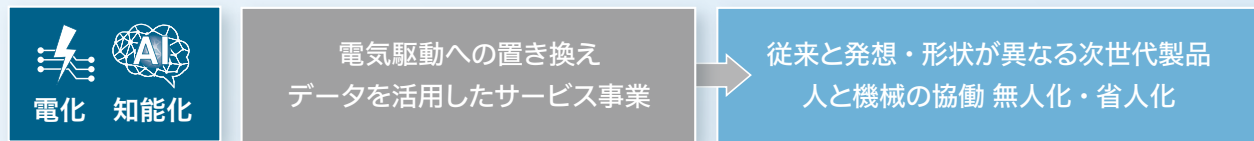
さらに先にある未来への挑戦

- ものづくりをベースに、社会的価値の変化や技術革新を取り入れ、事業領域を拡大
- 脱炭素化と電化・知能化による機械システムの進化に取り組んでいく

▶ P30「特集：脱炭素化の加速により気候変動問題の解決に貢献」をご覧ください。



▶ P50「技術基盤の強化」をご覧ください。



→ 遠い未来